

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	3-2	政策名	学校教育の充実	政策の 目指す姿	夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています	施策 主管課	小中学校課	施策主管 課長名	菅野 広紀
	施策No.	2		豊かな人間性の育成	施策の 目指す姿	児童生徒が、郷土を誇りとし、自己肯定感や思いやりの気持ちを持っています	関係課名			
	現状と課題	・多くの人と触れ合う機会の減少や自然体験・社会体験の不足により、協調性・責任感・規範意識などが低下している現状から、人間としてのよりよい生き方について自覚を深め実践する児童生徒を育成する必要があります。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1) 豊かな人間性の育成

- 国際理解教育の推進
 - ・小学校および中学校へ英語指導助手を派遣。小学校4校に中国語講師を派遣
- 道徳教育の充実
 - ・復興教育学校支援事業
- 地域体験学習の充実
 - ・地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を支援
- 地域と連携したキャリア教育の推進
- 生徒会におけるボランティア活動に対する支援
- 芸術文化活動の推進
 - ・花巻市中学校文化連盟事業補助
- 児童生徒表彰
 - ・体育・文化等の活動において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
自己肯定感を持った児童生徒の割合	岩手県学習定着度状況調査では、質問紙調査を併せて実施しており、設問内容は自己肯定感を測る指標として適当	質問に対して肯定的に回答した児童及び生徒の割合で測る。(小4, 5年の値の和を求め、2で割る。中1, 2の値の和を求め、2で割る)	%	目標値				小77.0 中66.0	小78.5 中68.0	小80.0 中70.0
				実績値	小73.5 中68.3	小71.7 中64.8	小75.5 中64.5			
親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合	岩手県学習定着度状況調査では、質問紙調査を併せて実施しており、設問内容は親切・思いやりの心を持っているかを測る指標として適当	質問に対して肯定的に回答した児童及び生徒の割合で測る。(小4, 5年の値の和を求め、2で割る。中1, 2の値の和を求め、2で割る)	%	目標値				小95.0 中91.5	小95.5 中92.0	小96.0 中92.5
				実績値	小85.7 中86.0	小86.0 中86.0	小94.5 中91.0			
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標「自己肯定感を持った児童生徒の割合」については、小学校、中学校ともに県平均を上回る状況にある。小学校では、コミュニケーション能力の素地を養う「外国語活動」において、国際化教育推進事業の活用が図られ、友達とのかかわりを大切にされた指導の成果が現れていると考える。また中学校では、生徒会ボランティア活動支援事業の成果が現れていると考える。 ・成果指標「親切・思いやりの心を持った児童生徒の割合」は小学校、中学校ともに県平均並みの状況である。復興教育学校支援事業の成果が現れていると考える。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	児童・生徒表彰事業	小中学校課	C	児童生徒の自己肯定感向上に貢献しているが、保護者の勝利至上の考えに拍車をかける恐れあり。
	体育・文化等の活動において顕著な成果を収めた児童生徒を表彰(受賞者数:576人)			
2	生徒会ボランティア活動支援事業	小中学校課	B	中学生が地域のボランティア活動に取り組むことにより、地域の方々に喜んでもらっている。
	ボランティア活動を行う各中学校生徒会への活動支援(活動数:26)			
3	復興教育学校支援事業	小中学校課	B	被災地でボランティア活動することにより、被災地に思いを寄せる生徒が育っている。
	推進校・実施校による被災地支援ボランティア活動の実施(実施校:のべ3校)			
4	地域体験型学習事業	小中学校課	C	地域に対する関心が高まり、体験を通じた確かな学びに貢献している。
	地域の風土・資源・伝統・人材を活用した体験的な学習を実施(参加児童生徒数:12,560人)			
5-1	国際化教育推進事業(小学校英語)	小中学校課	B	外国語活動の中で、コミュニケーション活動が取り入れられ、お互いに認め合う機会が増えた。
	各小学校に英語指導助手を派遣(1クラスあたりの指導時間:9時間)			
5-2	国際化教育推進事業(小学校中国語)	小中学校課	D	中国に対する関心を高めることができた。
	小学校4校に中国語講師を派遣(1校あたりの指導時間:24時間)			
5-3	国際化教育推進事業(中学校英語)	小中学校課	C	英語検定や英語弁論大会及び青少年海外派遣への関心が高まっている。
	各中学校に英語指導助手を派遣(1クラスあたりの指導時間:12時間)			
6	芸術文化推進事業	小中学校課	C	文化活動の充実は、生徒の情操を豊かにする機会となっている。
	花巻市中学校文化連盟事業補助(事業数:6)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・国際化教育推進事業(小学校中国語)については、小学校で活用する必要性が低いことから改廃の検討が必要。

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・復興教育学校支援事業については、今まで中学校への支援が多かったため、小学校への支援の在り方について検討したい。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・自己肯定感は、県平均を上回っているが、中学校の割合が60%台であることから、70%台に引き上げるための事業等を検討する必要がある。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・児童生徒表彰事業については、体育や文化等の活動において、すでに表彰されている場合が多い。在り方について検討が必要。

(今後の方向性)

・道徳教育と体験活動は密接な関係がある。道徳教育についての実態を把握し、学校のニーズに応じた支援策を検討したい。